

相談用紙の書き方

記入例/相続の場合

氏名 さいたま 太郎

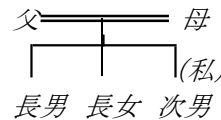
相談内容 *今までの経緯や現在の状況などを具体的に記入してください。

〇〇年〇月〇日に父が亡くなりました。相続人は4人です。遺言はありません。

知っている父の財産は母が住んでいる土地、家屋ですが、他に預金、有価証券等があるようです。

しかし兄が預金通帳等を管理していて、私達に遺産がどれくらいあるのか教えてくれません。

見せるように言っても口論になって、話しになりません。遺産を分けてもらうにはどうすればいいのでしょうか。



ポイント

相続

- 誰がいつ亡くなったのか
- 相続人の数
- 遺言の有無
(あればその内容)

敷金返還請求

- いつ契約したのか
- 契約書にハウスクリーニングや畳の張替えなどの特約があるか
- 故意や過失で毀損した物があるか

近隣とのトラブル

- 原因と損害金額
- 相手の主張
- 一時的か継続的か
- 証拠があるかどうか

金銭貸借

- 貸借のきっかけ
- 借用書の有無
- 返済期限と金額
- 返済状況
- どんな財産があるのか

離婚

- 婚姻期間
- 子供の数と年齢
- 離婚原因 (不倫、暴力等)
- 婚姻後の財産 (不動産、ローン等)
- 現在の収入、住まい

借家の明渡し

- いつ契約したのか
- 契約内容 (更新、保証人等)
- 家賃の支払い状況
- 明渡しの理由
- 建物の築年数と使用状況

弁護士法律相談(民事一般)用紙

市民相談(無料)について、次の事項についてご了承ください。

- ・相談員は、あなたの説明だけで短時間で判断しますので、後日判断が異なる場合があります。
- ・相談員は、相談の場における相談内容について受任はできませんのでご理解ください。
- ・お1人様年度1回のご利用に限らせていただきます。

相談内容 ※今までの経緯や現在の状況、相談したいことなどを具体的に記入してください。

相談者メモ欄